

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アスト中本様物流センター新築	階数	地上5F
建設地	大阪府和泉市あゆみ野3丁目2番1	構造	S造
用途地域	都市計画区域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年6月24日
敷地面積	20,027 m ²	作成者	辰巳 大輔
建築面積	6,102 m ²	確認日	2016年6月24日
延床面積	19,566 m ²	確認者	辰巳 大輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	75%
③上記+②以外の	75%
④上記+	75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 室内環境については全面禁煙にすることや耐用年数の長い配管材を使用することで配慮している。 室外環境については設備の高効率化を図ることや適切な量の駐車場を設けることで配慮している。		0
Q1 室内環境 室内環境については全面禁煙にすることで配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。
LR1 エネルギー 設備の高効率化を図っている	LR2 資源・マテリアル 再生骨材の路盤利用を行っている。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0058

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)アスト中本様物流センター新築工事						
	建設地	大阪府和泉市あゆみ野3丁目2番1 その他						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
	CO2削減						4	
	省エネ対策						4	
	みどり・ヒート アイランド対策						1	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
	項目	評価内容				スコア	評価	
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体			3.0	4	
			住戸・宿泊					
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.0		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
	項目	評価内容				スコア	評価	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	1	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				1.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							